学校番号	T3036

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）基礎数学	単位数	１単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、基礎計算から学習することで自分の力で解く姿勢を身につけ、できた、という実感を持つことができる活動を行います。
・高校数学に必要な基礎的な数学力を養うため、中学校数学の基礎的な部分から復習しますので、数学に少しでも不安がある人でも取り組みやすい授業になるように進めていきます。
・疑問やつまずきは一人で悩まず、周りの仲間や教員に質問し、小さなコミュニティーの中で相互に教えあうことでより深い理解を進めます。

2　学習の到達目標

(1) 高校数学の学習する上で必要な、数学の基礎的な内容を幅広く学習し、基礎学力の向上と習得するとともに、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする意欲を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などについて系統的に理解しているとともに、探究するために必要な知識や技能を身に付けている。	多角的、複合的に事象を捉え、数学的に考察し表現する力などを身に付けている。	数学に関する事象や課題に向き合い、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式	正負の数	a:正の数と負の数の必要性と意味を理解し、四則演算をすることができる。 b:正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 c:正の数と負の数の四則演算をすることで数学のよさを実感して粘り強く考えることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
		文字式	a:文字を用いることの必要性と意味を理解している。また、簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算ができる。 b:文字を用いた式を具体的な場面で活用できる。 c:文字式を生活や学習に生かそうとする態度があり、文字式の計算をすることで数学のよさを実感して粘り強く考えることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
		一次方程式	a:方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解し、一次方程式を解くことができる。 b:等式の性質を基にして、一次方程式を解く方法を考察し表現することができ、一次方程式を具体的な場面で活用することができる。 c:　一次方程式を生活や学習に生かそうとする態度があり、一次方程式を解くことで数学のよさを実感して粘り強く考えることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート

後期	数と式	連立二元一次方程式	a:二元一次方程式、連立二元一次方程式とその解の意味を理解し、簡単な連立一次方程式を解くことができる。 b:一元一次方程と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現することができ、連立二元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。 c: 連立二元一次方程式を生活や学習に生かそうとしていて、連立二元一次方程式を解くことで数学のよさを実感して粘り強く考えることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
	関数	比例･反比例	a:関数関係の意味、比例・反比例、座標の意味を理解し、比例・反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 b:比例・反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それら変化や対応の特徴を見出すことができ、比例・反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 c: 比例・反比例を生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
		一次関数	a:一次関数について理解し、事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知っている。 b: 一次関数として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができ、一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 c: 一次関数を生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度